



ゆる気もりもり明野の子

明野



4つの気の充実 ～元気(げんき)・本気(ほんき)・根気(こんき)・勇気(ゆうき)～

『新学習指導要領に向けて』

校長 谷川 充穂

全校参観日には多数参観していただきありがとうございました。また、全校音楽集会にも120名もの参観があり、子どもたちも張り切って、日頃の学習の成果を発表しておりました。重ねてお礼申し上げます。

さて、私が校長として、子ども達の健やかな成長のために成すべき事は、「限りある時間の中でいかに有効に教育計画を立てるか」ということです。

平成32年度から外国語が教科として位置づけられ、週に2時間行うこととなります。外国語活動が3,4年生に週1時間付加されます。現在4～6年生においては年に980時間が、子供達に基礎基本を身に付ける上で最低限必要な時数となっております。3年後には1015時間に増えるわけです。

単純に6時間授業を1コマ増やせばすむことなのですが、そう簡単にはいきません。時数にカウントされない児童会やクラブはそのまま残っているわけですから、それを行うための時間も確保しなくてはなりませんし、様々な会議の時間も確保しなくてはなりません。放課後行われる会議として、職員会議、分掌会議、運営委員会、学年会議、研究会議等あり、どれも欠くことができません。平成23年度に学習指導要領が改訂されたときに、会議等の精選に努め、これ以上のスリム化は大変厳しいと言わざるを得ません。ですから、今、学校が抱えている最大の課題は「時間を確保すること」と言っても過言ではないのです。

来年度から外国語活動を先行実施として3年生以上15時間付加されます。その時数確保に頭を悩ませているのが現状です。今、考えているのは、欠時数を極力少なくすることを考えております。その一つとして、家庭訪問週間の午前授業をすべて5時間授業にし、教育相談週間に変えること。学習発表会当日を普通日課とすること。運動会、学習発表会の全体練習を極力少なくすること等、何とか、6時間授業を増やさないで、行う方法を模索中です。しかしながら、3年後はそうはいきません。土曜授業(振り替え休業日なし)や長期休業日を減らす方法も考慮しなくてはならないでしょう。

さらに、来年度から道徳の教科化が始まります。新学習指導要領のねらいに沿った、授業展開を行おうと、研究を始めています。3年後の英語科の導入が一番の変化ですが、授業をどのように構築していくか、頭を悩ませているところです。そのための研究も始めていかななくてはなりません。

さらなる行事の精選が不可欠

多くの時数が必要だった運動会や学習発表会を変えていかななくてはなりません。学習指導要領には、行事に関わる練習時間の想定はありません。ですから、新たな種目や表現については極力抑えなくてはならないのです。

では、どのくらいの時数を学校行事の準備時間に当てることができるのでしょうか？

それは、今年度の6年生の授業可能時数は1030時間です。来年度は995時間の授業数がありますので、余時数は35時間です。臨休措置などを考えると、最低でも余時数は50時間確保したいところです。ですから、できるだけ余時数を確保するために、いろいろ知恵を絞っているのです。行事のための準備時間はとれないのが現状なのです。

運動会でいうと、運命競争的な種目は体育の授業では扱いませんのでカットしました。また、来年度から表現(リズム)を5,6年(よさこい)のように低学年、中学年ともに毎年同じものを行うこととなります。全体練習の予行練習以外の全体練習は1時間に抑えました。学習発表会も純然たる「劇」は扱いません。劇をするに当たって、シナリオづくり、配役のための時間、脚本を読み合う時間など、到底、授業で扱えない膨大な時間が必要となります。ですから、教科と関連づけながら、子どもたちの主体的な学びを大切に発表にしていけるのです。

今年度の学習発表会は、前にも記述したように、普通通りに登校し、4時間授業後に下校します。さらに、各学年で対応できるように大がかりな舞台装置はありません。衣装なども、保護者の手を煩わせることはしません。日頃の学習の成果を発表するという観点から、リハーサル等も極力少なくします。

どの教育活動の参観においても、子どもたちが、楽しいだけではなく辛くもあつた学習を乗り越えて、その発表までこぎ着けた子供達の「努力」を認め、「励ます」姿勢こそが大切です。子どもたちとともに学んでいく姿勢を貫きたいと考えています。保護者の皆様の協力と理解をよろしくお願いいたします。

ご参観ありがとうございました



観いただき、本当にありがとうございました

9月15日は『全校参観日・音楽の集い』でした。

音楽の集いでは、120名の保護者の皆さん、そして日頃からお世話になっている交通指導員さん、学校評議員さん達をお迎えして全校音楽を発表しました。

低学年のアリーナに響く元気な歌声、高学年のリコーダーと鍵盤ハーモニカのハーモニー。普段の練習の成果と音楽の楽しさをみんな味わうことができました。

全校参観では、本校の学力向上の秘訣である普段通りに学習に取り組む姿をご覧いただきました。3年生では図書館より司書さんをお迎えしてさらに意欲的に学習する姿が見られたことでしょう。

お忙しい中、多数ご参

10月の行事予定

- 2日(月) 児童委員会 代表委員会
児童会任命式
- 3日(火) マラソン記録会
- 4日(水) 生活アンケート(6日まで)
- 5日(木) マラソン記録会(予備日)
- 7日(土) 自由研究作品展表彰式
(美術博物館)
- 10日(火) 教育相談週間(13日まで)
- 11日(水) 就学時健診(午前授業)
- 12日(木) 花壇コンクール表彰式
- 13日(金) 学習発表会会場設営(5時間授業)
- 16日(月) 特別時間割開始
- 18日(水) PTA 校内清掃
- 25日(水) 市PTA 連研究大会
- 26日(木) 学習発表会児童公開
教養部コサージュ作り
- 28日(土) 学習発表会保護者公開
- 30日(月) 振替休業
- 31日(火) 食に関する指導2年



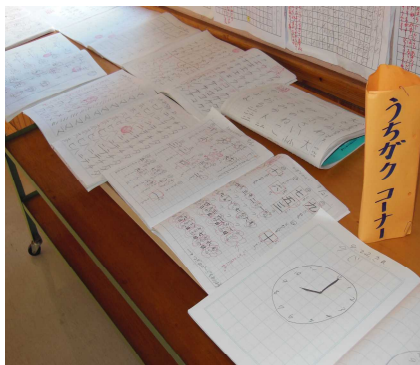
夏休み明けの8/23～29長期休業中の生活リズムからの脱却と質の高い家庭学習の習慣を身につけようと『うちガク週間』を設定し、全校で取り組みました。

チェックシートには子ども達の取り組みの様子と頑張った成果が見ることができました。また、保護者の皆さんからの温かいコメントも多く記載されていて、保護者の皆さんの協力と、関心の高さを感じました。

『毎日頑張っていました。時間を決めて始められるともっとよかったです。』

『学習内容も考えながら、毎日集中して取り組むことができました。これからもこの調子を崩さず頑張らしましょう!!』

『うちガク頑張ったね! わからないところはちゃんと調べて確認していたね。次回はもっと集中して頑張ろう。』



とたくさんの褒め言葉と、励ましの言葉をいただきました。保護者の皆さんのご協力に感謝いたします。

学年が上がってくるにつれて、決まった時間に取り組めなかったり、帰ってきてから学習を始めるまでに時間がかかるなど生活習慣に大きな関係がある児童がいることもわかりました。

今後はうちガクする時間を生活スタイルに合わせて決め、限られた時間を有効に使うこと、そしてその時間をうまく活用して学習の質を上げていくことを考えながら指導に当たっていきたいと考えています。多くのご協力と励ましありがとうございました。

うちガク週間は終了